

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月7日

上場会社名 株式会社 エスイー 上場取引所 大
 コード番号 3423 URL <http://www.se-corp.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森元峯夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 塚田正春 TEL 03-3340-5500
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	7,343	12.3	151	—	141	—	59	—
24年3月期第2四半期	6,538	△3.0	△169	—	△159	—	△56	—
(注) 包括利益	25年3月期第2四半期		49百万円 (—%)		24年3月期第2四半期		△43百万円 (—%)	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	7.80	—
24年3月期第2四半期	△7.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	
	百万円	百万円	%	
25年3月期第2四半期	16,848	6,167	36.6	
24年3月期	18,192	6,272	34.5	
(参考) 自己資本	25年3月期第2四半期	6,166百万円	24年3月期	6,267百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,800	9.1	776	108.7	800	103.2	471	84.1	61.36

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

なお、1株当たり当期純利益につきましては、平成24年10月22日付「株主割当による新株式発行に関するお知らせ」にて公表いたしました株主割当増資による新株式の増加予定株式数は考慮しておりません。1株当たり当期純利益の算定については、平成24年9月30日現在の株式数に基づく期中平均株式数7,676千株にて算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	8,350,000株	24年3月期	8,350,000株
25年3月期2Q	674,218株	24年3月期	673,269株
25年3月期2Q	7,676,573株	24年3月期2Q	7,676,981株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 当社グループは、土木建設用資材の受注生産を行っており、主に土木工事を中心とした公共関連工事に使用されております。このため、経営成績は公共投資の動向に影響を受けると同時に、業績は下半期に偏る傾向があります。従いまして、当社の業績予想についても第1～第2四半期に比べ、第3～第4四半期のウエイトが高い業績予想となっております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(7) 重要な後発事象	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要が続く一方で、円高の長期化や世界景気の減速感等があり、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境のもと当社グループでは、建設業界での公共投資の減少による市場規模の縮小等の困難な問題に対処すべく、中・長期的な安定収益の確保と経営基盤の強化として、次のような取り組みを行ってまいりました。

- 成長市場としての「補修・補強市場」への積極的な事業展開
- 海外（ベトナム）建設市場での事業展開（ハロン～ハイフォン道路Bach Dang橋整備調査業務）
- PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ＝公民連携）への積極的な取組
- 東日本大震災からの復興に呼応するグループの事業展開

特に「補修・補強市場」への事業展開として、第1四半期連結累計期間において株式会社仲田建設（新商号：エスイーリペア株式会社）の株式を取得し、子会社化したことに伴い、補修・補強工事業を中心とした新規分野に事業を拡大してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,343百万円（前年同期比12.3%増）と増収となりました。利益面では、株式会社エスイーの「建設用資機材の製造・販売事業」における利益率の比較的高い工場製品の販売が順調に推移したことによる利益の増加があり、製造部門の生産効率向上や販売管理費のコスト圧縮などに注力し、また、子会社エスイーA&K株式会社の「建築用資材の製造・販売事業」では、震災復旧・復興需要の取り込みや首都圏市場での受注が順調に推移したことによる利益増加があり、営業利益151百万円（前年同期は169百万円の営業損失）、経常利益141百万円（前年同期は159百万円の経常損失）、四半期純利益59百万円（前年同期は56百万円の四半期純損失）と増益となりました。

なお、第1四半期連結累計期間に株式会社仲田建設（新商号：エスイーリペア株式会社）を子会社化したことに伴い、報告セグメントの区分方法の見直しを行い、新たに「補修・補強工事業」を追加いたしました。

前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(建設用資機材の製造・販売事業)

この事業における分野別状況は次のとおりであります。

○ 環境・防災分野

この分野では、昨年度は東日本大震災に起因する公共事業費5%執行保留による影響がありましたが、当期においては、事業執行の回復が図られております。しかしながら、主力製品である『アンカー』での災害関連物件の納入が第3四半期以降にずれ込んだことなどにより、前年同期と比べ売上高の減少となりました。この結果、環境・防災分野での売上高は3,286百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

○ 橋梁構造分野

この分野では、橋梁に使用される『斜材ケーブル』、主として補修工事に使用される『外ケーブル』などの売上高が増加いたしました。この結果、橋梁構造分野の売上高は910百万円（前年同期比24.2%増）となりました。

○ レンタル・その他分野

この分野は、工事他施工に用いるジャッキ・ポンプ等の緊張用機材のレンタル売上などであり、売上高は83百万円（前年同期比64.6%増）となりました。

以上のことからグループの主力事業である「建設用資機材の製造・販売事業」の売上高は4,280百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は150百万円（前年同期は118百万円の営業損失）となりました。

(建築用資材の製造・販売事業)

この事業では、建築用資材市況の厳しい状況が続く中、東北市場での復旧・復興需要の取り込みが堅調に推移いたしました。また、首都圏市場でも旺盛なマンション需要を中心に、中小案件をきめ細かく取り込むことができ、売上・利益ともに増加いたしました。この結果、この事業の売上高は2,355百万円（前年同期比12.2%増）、営業利益は143百万円（前年同期比16.0%増）となりました。

(建設コンサルタント事業)

この事業では、連結子会社である㈱アンジェロセックにおいて、国内公共投資の削減および市場の縮小、海外市場では政府開発援助（ODA）予算の減少など、引き続き厳しい経営環境となりましたが、外務省NGO審査案件の継続受注、また、環境省より「H24年度新メカニズムの構築に向けたアフリカ地域におけるMRV体制構築支援事業」の受注をするなど、新規分野への事業展開を推し進めております。この結果、この事業の売上高は276百万円（前年同期比63.3%増）、営業損失は71百万円（前年同期は104百万円の営業損失）となりました。

(補修・補強工事事業)

この事業では、第1四半期連結累計期間において株式会社仲田建設（新商号：エスイーリペア株式会社）の株式を取得し子会社化いたしました。これにより、事業規模が拡大し、補修・補強工事（橋梁構造物、トンネル等）での実績を積み重ねておりますが、競合の激化、工事単価の下落など市場環境は引き続き厳しい状況となりました。

この結果、この事業の売上高は426百万円（前年同期は32百万円の売上高）、営業損失は34百万円（前年同期は28百万円の営業損失）となりました。

(その他事業)

この区分には上記報告セグメントに含まれない事業セグメントを集約しており、「バイオマス事業」を含んでおります。この事業の売上高は3百万円（前年同期は4百万円の売上高）、営業利益は47万円（前年同期は20百万円の営業損失）となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は16,848百万円（前連結会計年度末比1,344百万円減）でありました。内訳は、流動資産11,415百万円（前連結会計年度末比1,493百万円減）、有形固定資産3,813百万円（前連結会計年度末比851千円減）、無形固定資産370百万円（前連結会計年度末比112百万円増）、投資その他の資産1,249百万円（前連結会計年度末比37百万円増）でありました。減少の主な要因は、受取手形及び売掛金が1,488百万円減少したことによります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は10,680百万円（前連結会計年度末比1,239百万円減）となりました。内訳は、流動負債が6,617百万円（前連結会計年度末比797百万円減）、固定負債が4,062百万円（前連結会計年度末比442百万円減）でありました。減少の主な要因は、支払手形及び買掛金568百万円、長期借入金463百万円が減少したことによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は6,167百万円（前連結会計年度末比104百万円減）となりました。減少要因は、主として株主配当金の支払による利益剰余金の減少によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して308百万円減少して3,324百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、667百万円でありました。主な資金の増加は、税金等調整前四半期純利益が128百万円、売上債権の減少額1,627百万円等でありました。主な資金の減少は、仕入債務の減少額742百万円、法人税等の支払額59百万円等でありました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、91百万円でありました。主な減少の要因は、有形固定資産の取得による支出64百万円、投資有価証券の取得による支出42百万円等でありました。主な増加の要因は、保険積立金の解約による収入39百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入37百万円等でありました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、885百万円でありました。増加要因の主なものは、長期借入による収入200百万円であり、主な減少要因は短期借入金の純減額100百万円、長期借入の返済による支出687百万円、社債の償還による支出127百万円、親会社による配当金の支払153百万円等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期（連結）の業績予想につきましては、前期に比して順調に推移すると予想されますが、第3四半期以降における各グループ会社の受注動向を慎重に見極める必要があることから、現時点では平成24年5月11日に公表いたしました業績予想を修正しておりません。今後精査し、見通しが明らかになった時点で速やかな開示を行ってまいります。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,418千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,945,791	3,666,413
受取手形及び売掛金	7,105,387	5,617,349
商品及び製品	264,636	256,286
仕掛品	376,553	444,163
原材料及び貯蔵品	908,521	1,031,814
その他	368,283	469,906
貸倒引当金	△60,386	△70,830
流動資産合計	12,908,786	11,415,102
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,193,383	1,169,090
機械装置及び運搬具(純額)	326,106	301,666
工具、器具及び備品(純額)	58,066	55,834
土地	2,200,210	2,224,421
リース資産(純額)	32,204	40,971
建設仮勘定	4,428	21,563
有形固定資産合計	3,814,400	3,813,548
無形固定資産		
のれん	155,139	144,236
その他	102,830	226,224
無形固定資産合計	257,969	370,461
投資その他の資産		
投資有価証券	641,940	657,354
その他	599,897	614,560
貸倒引当金	△30,380	△22,623
投資その他の資産合計	1,211,458	1,249,291
固定資産合計	5,283,827	5,433,301
資産合計	18,192,614	16,848,404

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,649,204	4,080,771
短期借入金	280,522	180,522
1年内返済予定の長期借入金	1,400,274	1,376,110
1年内償還予定の社債	254,000	254,000
未払法人税等	65,837	116,117
賞与引当金	71,929	81,586
その他	693,084	528,571
流動負債合計	7,414,852	6,617,678
固定負債		
社債	557,000	430,000
長期借入金	3,044,372	2,580,552
退職給付引当金	259,824	272,919
役員退職慰労引当金	415,380	428,090
資産除去債務	43,225	43,613
その他	185,428	307,592
固定負債合計	4,505,230	4,062,767
負債合計	11,920,082	10,680,446
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,046,100	1,046,100
資本剰余金	995,600	995,600
利益剰余金	4,656,980	4,563,289
自己株式	△247,345	△247,744
株主資本合計	6,451,334	6,357,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,148	12,359
為替換算調整勘定	△211,947	△203,193
その他の包括利益累計額合計	△183,798	△190,834
少数株主持分	4,995	1,547
純資産合計	6,272,531	6,167,957
負債純資産合計	18,192,614	16,848,404

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	6,538,208	7,343,688
売上原価	4,890,319	5,466,199
売上総利益	1,647,888	1,877,489
販売費及び一般管理費	1,817,789	1,725,597
営業利益又は営業損失(△)	△169,900	151,891
営業外収益		
受取利息	297	404
受取配当金	1,142	1,359
受取手数料	6,121	7,261
受取家賃	9,622	8,872
持分法による投資利益	36,931	—
保険返戻金	—	14,529
貸倒引当金戻入額	11,885	6,562
その他	8,668	9,262
営業外収益合計	74,667	48,252
営業外費用		
支払利息	41,819	44,044
売上割引	7,720	8,813
為替差損	13,127	2,225
寄付金	1,819	1,520
持分法による投資損失	—	1,835
その他	131	54
営業外費用合計	64,618	58,494
経常利益又は経常損失(△)	△159,851	141,650
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	10,894	—
退職給付制度終了益	4,425	—
保険差益	1,614	—
特別利益合計	16,934	—
特別損失		
固定資産除却損	876	282
投資有価証券評価損	—	4,750
退職給付引当金繰入額	—	8,318
特別損失合計	876	13,350
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△143,794	128,299
法人税等	△83,068	71,904
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△60,725	56,394
少数株主損失(△)	△4,579	△3,447
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△56,146	59,842

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△60,725	56,394
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,236	△14,797
持分法適用会社に対する持分相当額	20,280	7,762
その他の包括利益合計	17,044	△7,035
四半期包括利益	△43,681	49,359
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△39,102	52,807
少数株主に係る四半期包括利益	△4,579	△3,447

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△143,794	128,299
減価償却費	129,848	112,372
のれん償却額	10,902	10,902
固定資産除却損	876	282
投資有価証券評価損益(△は益)	—	4,750
持分法による投資損益(△は益)	△36,931	1,835
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,187	2,686
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,197	1,956
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△9,787	13,094
退職給付制度終了益	△4,425	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△8,137	12,710
受取利息及び受取配当金	△1,439	△1,764
支払利息	41,819	44,044
売上債権の増減額(△は増加)	1,916,640	1,627,937
たな卸資産の増減額(△は増加)	△370,149	△50,134
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,076,809	△742,886
未払金の増減額(△は減少)	15,399	△201,413
前受金の増減額(△は減少)	66,111	△155,897
その他	△42,708	△80,737
小計	497,801	728,038
利息及び配当金の受取額	22,331	21,061
利息の支払額	△40,362	△44,156
法人税等の支払額	△177,942	△59,599
その他	15,481	22,591
営業活動によるキャッシュ・フロー	317,308	667,935
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△29,150
有形固定資産の取得による支出	△60,328	△64,238
無形固定資産の取得による支出	△6,616	△11,510
投資有価証券の取得による支出	△2,468	△42,951
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△4,426	△5,110
貸付けによる支出	—	△15,000
貸付金の回収による収入	111	112
保険積立金の解約による収入	781	39,329
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	37,493
投資活動によるキャッシュ・フロー	△72,946	△91,025

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△76,800	△100,000
長期借入れによる収入	768,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△696,708	△687,984
社債の発行による収入	100,000	—
社債の償還による支出	△127,000	△127,000
配当金の支払額	△153,161	△153,371
自己株式の取得による支出	—	△398
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,506	△4,654
割賦債務の返済による支出	—	△11,613
財務活動によるキャッシュ・フロー	△189,176	△885,022
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,039	△44
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	48,145	△308,157
現金及び現金同等物の期首残高	3,206,822	3,632,185
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,254,968	3,324,027

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					計	その他 (注)	合計
	建設用資機 材の製造・ 販売事業	建築用資材 の製造・販 売事業	建設コンサル タント事 業	補修・補強 工事業				
売上高								
外部顧客への売上高	4,231,891	2,099,764	169,589	32,329	6,533,575	4,633	6,538,208	
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	4,020	—	4,020	235,736	239,756	
計	4,231,891	2,099,764	173,609	32,329	6,537,595	240,370	6,777,965	
セグメント利益又は損失 (△)	△118,911	123,359	△104,646	△28,622	△128,820	△20,973	△149,794	

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バイオマス事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△128,820
「その他」の区分の利益	△20,973
セグメント間取引消去	10,122
全社費用 (注)	△19,326
のれんの償却	△10,902
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△169,900

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費等に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	建設用資機 材の製造・ 販売事業	建築用資材 の製造・販 売事業	建設コンサル タント事 業	補修・補強 工事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,280,914	2,355,163	276,987	426,635	7,339,700	3,987	7,343,688
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,240	—	7,320	1,650	13,210	—	13,210
計	4,285,154	2,355,163	284,307	428,285	7,352,910	3,987	7,356,898
セグメント利益又は損失 (△)	150,735	143,085	△71,903	△34,766	187,150	471	187,621

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バイオマス事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	187,150
「その他」の区分の利益	471
セグメント間取引消去	10,019
全社費用 (注)	△33,967
のれんの償却	△11,781
四半期連結損益計算書の営業利益	151,891

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費等に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、株式会社仲田建設（新商号：エスイーリペア株式会社）を子会社化したことに伴い、報告セグメントの区分方法の見直しを行い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「建設用資機材の製造・販売事業」、「建築用資材の製造・販売事業」及び「建設コンサルタント事業」の3区分から、「建設用資機材の製造・販売事業」、「建築用資材の製造・販売事業」、「建設コンサルタント事業」及び「補修・補強工事業」の4区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

(株主割当増資)

当社は、平成24年10月22日開催の取締役会において、会社法202条に基づく株主割当による新株式発行に関し、下記のとおり決議いたしました。

なお、株主割当増資の概要は以下のとおりです。

(概要)

- | | |
|-------------|--|
| (1) 発行新株式数 | : 当社普通株式 7,675,782株 (予定) |
| (2) 発行価額 | : 1株につき 金25円 |
| (3) 発行価額の総額 | : 191,894,550円 (予定) |
| (4) 資本組入額 | : 191,894,550円 (予定) |
| (5) 割当方法 | : 平成24年11月27日の最終の株主名簿に記載または記録された株主様に対して所定の申込をすることにより、その所有株式 1株につき 1株の割合をもって新株式を割当てます。ただし、株式の割当を受ける権利を有する株主様が所定の申込をしないときは、当該株主様への新株式の割当は行われません。 |
| (6) 申込期間 | : 平成24年12月25日 から 平成25年1月18日 まで |
| (7) 払込期日 | : 平成25年1月30日 |
| (8) 資金の使途 | : 「超高引張強度コンクリートを用いた道路橋用プレキャスト床版」の研究開発資金として全額充当する予定です。 |
| (9) その他 | : 前記各号については、金融商品取引法による届出の効力発生を条件とします。 |